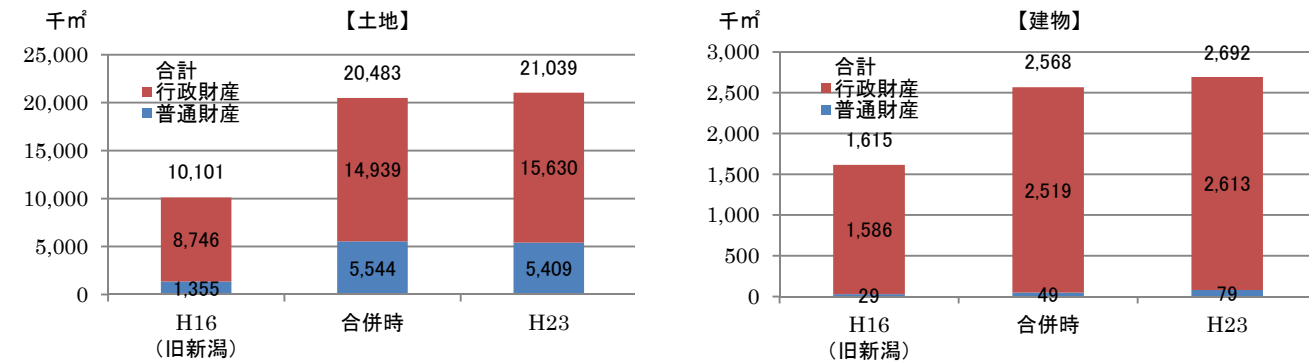


# 新地方公会計「基準モデル」への移行と「財産経営」の推進について

## 1 公有財産の現状

### ◆ 増加する公有財産【土地・建物】

本市は周辺市町村との合併により保有する公有財産は大幅に増加、合併後も増加傾向は継続



## 2 新地方公会計「基準モデル」への移行

### ◆ 「基準モデル」への移行に伴う固定資産台帳の整備

新地方公会計制度に基づく財務書類を「総務省方式改訂モデル」から「基準モデル」へ移行  
(平成 24 年度決算で試行、平成 25 年度決算で本格実施予定)

新潟市の普通会計貸借対照表 (平成 23 年 3 月 31 日)【総務省改訂モデル】 金額 (億円)

[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産 (有形固定資産など)	10,692	1 固定負債 (地方債など)	4,212
2 投資等 (投資、基金など)	408	2 流動負債 (償還予定地方債など)	454
3 流動資産 (現金預金など)	266	[純資産の部]	6,700
資産合計	11,366	負債・純資産合計	11,366

※「総務省方式改訂モデル」の有形固定資産は、昭和 44 年度以降の決算統計データで算出  
※「基準モデル」では、固定資産の公正価値や減価償却費を正確に把握した固定資産台帳から計上

### ◆ 資産の正確な把握と活用が求められています。

## 3 公有財産の有効活用

### ◆ 未利用財産の活用

施設の建て替え、移転に伴い、未利用財産が増加

用途が廃止された財産は売却が原則

売却が困難な財産や、現有財産の空きスペースは貸付など、最大限の有効活用を図ることが必要

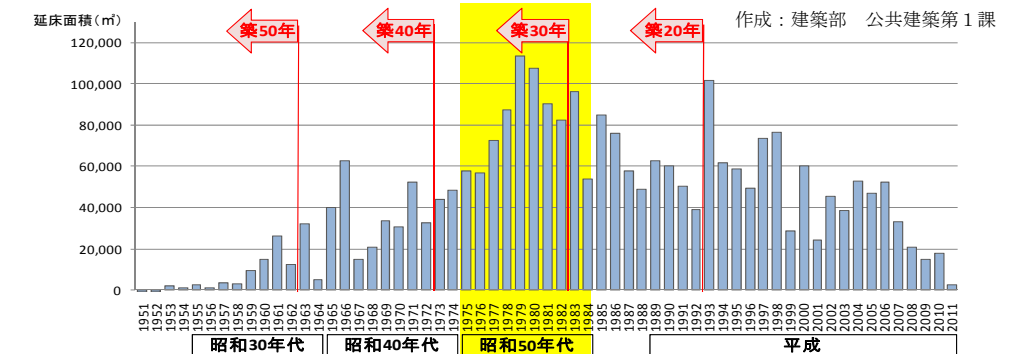
所在地 (通称)	面積
市民病院跡地	17,655 m <sup>2</sup> (本年度入札予定)
旧中央卸売市場	40,881 m <sup>2</sup> (売却を前提に地元と検討中)
旧万代小学校	14,735 m <sup>2</sup> (売却を前提に地元と検討中)
旧新潟県競馬組合	213,642 m <sup>2</sup> の持分 3 分の 1
鳥屋野潟南西部	99,589 m <sup>2</sup> (消防局中央消防署、アイスアリーナ、市民病院暫定駐車場)

## 4 急速に進む施設の老朽化

### ◆ 建築後 30 年を経過する施設が増加

本市が所有する施設は昭和 50 年代 (黄色いマーカー部分) に建てられたものが多く存在

建築後 30 年を超える施設の割合は、平成 22 年度末の約 41% から、10 年後の平成 32 年度末には約 66% を占め、急速に施設の老朽化が加速



### ◆ 老朽化する施設の対応

昨年度実施した大規模改修工事の対象面積は約 4 万 m<sup>2</sup>

大規模改修の適齢期である昭和 50 年代は年間 8 万 m<sup>2</sup> 前後の床面積が増加

計画的な維持保全工事により施設の長寿命化を図り財政的な負担を減らす工夫が必要

## 5 「財産経営」の推進

### ◆ 経営的視点による「財産経営」の推進

人口減少、少子高齢化による厳しい財政環境に対応した「財産経営」を推進  
将来にわたり適正かつ効率的に資産を管理・利活用する「財産経営」を推進  
次世代の負担を軽減し良質な財産を引き継ぐ「財産経営」を推進

